

月刊

ボラナビ

2011年

4 No.152
月号

無料

ご自由にお持ち帰りください



OB・OG
コ
ラ
ム

N
P
O
な
人

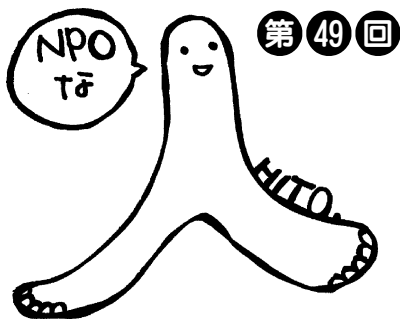
札幌子ども日本語クラブ代表 谷光(たにあきら)さん
泣いた！ 笑った！ ネパールの人々と…

今月の表紙イラスト

プロとしてご活躍で江別市在住の
スタナオ子さんにご提供いただき
ました。 <http://nacart.main.jp>

表紙のイラスト
募集中

北海道の NPO 法人認証数
1,649 法人
(2011 年 1 月末現在)

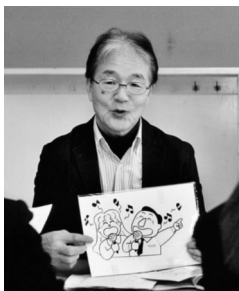


第 49 回

.....

NPO 活動をしている人をどのくらいご存じですか？
どんな人が、どのような経緯で始めたり、関わるようになったのでしょうか。
北海道の多くの市民活動家の中から、まさに「NPO な人」として紹介したい方に、これまでのエピソードを教えてくださいました。

.....



著 者 札幌子ども日本語クラブ代表
谷 光（たに あきら）

1943 年生まれ。札幌市立苗穂小学校を振り出しに 2003 年伏古北小学校を最後に定年退職するまで市内 6 校に勤務。現在、北海道教育大学札幌校、名寄市立大学非常勤講師。

「札幌子ども日本語クラブ」との出会い

退職するというのはやはり寂しいものです。教師という仕事は朝から晩まで、夜中は夢の中で、朝起きてもいつの間にか、受け持ちの子どもたちについて考えることがあります。また、この十年ぐらいで随分「キツイ仕事」に変わりました。「できれば早く辞めたい」という教師たちの声も多く聞くようになりました。「先生」という響きも、かつての尊敬あるいは信頼を含めたものではなくなってきました。毎年、今まで出会ったことのないような子どもたちと出会い、戸惑うことも多く、日々勉強しなくては、経験だけではとても太刀打ちできなくなっています。思えば子どもたちに鍛えられて、なんとか教師としての人生を全うできた 36 年間でした。

「退職したら何をしようか」と考えてはいたのですが、毎日の仕事に追われ、なかなか退職するという実感がなく、決められないでいました。長年、仕事が忙しくて離れていた油絵を初歩から習ってみたいなど、やりたいことはたくさんありました。いろいろ考えましたが、退職した年の 4 月、専門学校の日本語教師養成課程に入学し、若者に交じって半年間勉強したのです。学ぶことがとても新鮮で、弁当を持っていそいそと通いました。しかし養成課程修了後、すぐに外国に行って日本語教師になれるというものではありませんでした。そこで、とりあえず講師から紹介された「札幌子ども日本語クラブ」に参加しました。

この会は、さまざまな事情で札幌に住むことになった外国人や帰国者の子どもたちの日本語学習をボランティアで支援しています。もみじ台団地に住む中国帰国者の生活支援をしていた方たちが、子どもたちが一日も早く日本語を習得し、安心して生活できるようにと 2001 年に始めました。ボランティアをする会員は大学生から 70 代までで、日本語教育に携わっている方、主婦、元教師、大学生、留学生など、現在は 30 人程です。



マンツーマンで中学生の日本語学習を支援

困難を抱える子どもたちの力になりたい

中国から帰国した両親の子K君が、中学生になったある日、自分の気持ちを片言(かたこと)の日本語で語ってくれました。「なんで、二つも三つも言葉を覚えるの?」と。彼のつぶやきは切実なものでした。彼にとっては親の都合で日本に連れてこられたのです。学校では意味の分からない言葉が頭の上を行き来する中で、長い時間じっと座っていなくてはなりません。そして日本語だけではなく、英語や難しいたくさんの教科も勉強しなくてはならないのです。学校では日本語を使い、家に帰れば中国語で生活します。日本語の習得と学校の勉強の大変さから、小学校に転入し、年下の子と一緒に勉強します。思春期を迎える頃には、生まれた国「中国」と親が選択した祖父の国「日本」の狭間で、「自分は何者なのか」とアイデンティティ※を求めて二つの国の間で揺れ動くことになるのです。

私が青年教師だった頃、受け持ったクラスにはありませんが、中国帰国者の兄弟が入学してきました。5年生と6年生でしたが、実際の年はそれより二つ上で、背の大きな子どもたちでした。そんな彼らがだんだん荒れ、中学に進んだ頃はつっぱりグループのボスになっていきました。言葉の壁は、私たちが想像する以上に過酷だったのだと思います。

困難を抱える子どもたちの力に少しでもなれたら——そんな思いで活動に参加しています。また、私はこの会に参加したことがきっかけで「中国残留孤児の聴き取り調査」にも参加させてもらいました。日本人として知らなくてはならない戦争の歴史、しかし知らないで過ごしてきたことがたくさんありました。

遠い外国から日本に来て、日本語が分からず、話せずという子どもたちがいても、今の学校の体制ではほとんど応えることができません。公的な支援体制は皆無です。遠い外国から日本にやってきた子どもたちがまずぶつかるのは言葉の壁。子どもだから早く日本語も覚えるだろうと考えがちですが、教科の内容を理解する上での学習言語の獲得は、これまで育ってきた生活文化の違いもあり、なかなか難しいものです。

会の先輩のみなさんが発足以来、手厚い支援の必要性を繰り返し要請してきたことが実を結び、2006年から札幌市教育委員会の「帰国・外国人児童生徒教育支援事業」が始まり、ボランティア登録をした会員が市教育委員会の要請で学校に行って支援をしています。私が会に参加した2004年当時、対象は中国帰国者のお子さんが多かったのですが、最近は留学生のお子さん、国際結婚で日本に来た方たちのお子さんなど国籍は多様で、母語も英語、中国語、ロシア語、カンボジア語、ハングル語、インドネシア語、タガログ語などです。来日までの経緯も様々で、日本語学習だけでなく、生活の基盤を整えたり、生活上の悩みや進学など様々なことにもサポートが必要になっています。私たちでは対応できない困難な問題もあり、各専門家や市民団体のみなさんとの連携がますます必要です。



学習支援者による月1回のミーティング

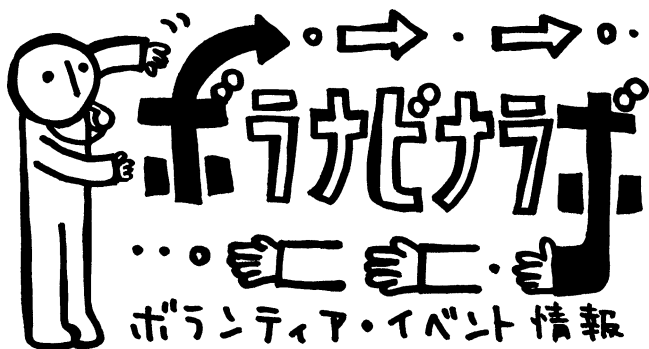
※自分は何者であり、何をなすべきかという個人の心の中に保持される概念

ボランティア募集中

日本語教師養成講座修了または修了予定、大学で日本語教育を履修された方、日本語教育に関心のある方は一緒に活動しませんか。対象の子どもさんにもよりますが、週一回程度、放課後の時間帯です。

■ 札幌子ども日本語クラブ ■

TEL・FAX: 011-782-0635 (谷)



情報をお待ちしています

ホームページの入稿フォームをご利用ください。

※インターネット環境に無い方は、FAXや郵便でお送りください。

締切は毎月25日。次回は4月25日締切で6月号掲載です。

- ボラナビのページ数は増やせないためスペースは限られています。
- ホームページ「ボラナビ・サーチ」にも情報を掲載しています。
- 活動で生じた問題につきましては、当事者間で解決を図られるようお願いいたします。また、万が一の事故やケガにそなえてボランティア保険への加入を推奨します。

随時 病院やデイサービスのボランティア募集

手稲溪仁会病院の「ボランティア青い鳥」は、外来の患者さんを案内したり、入院している患者さんの話し相手を務めたり、デイサービスでお茶だしや話し相手、外出を伴う行事の介助サポートなどをしています。一緒に活動しませんか？

- 日時／月～金曜日 9:00～17:00
- 場所／手稲溪仁会病院（札幌市手稲区前田1条12丁目）
- 交通機関／JR「手稲駅」〈北口〉徒歩3分
- お問合せ／手稲溪仁会病院 ボランティア青い鳥〈担当：中山〉
メール t-vo.sasae@kejinkai.or.jp TEL: 011-681-8111 FAX: 011-685-2998



毎月20日前後に、月刊ボラナビの梱包、封入、配達などを手伝ってくれる方を募集しています。古新聞をひもで梱包するのが得意というあなた！月一度のボランティアにぜひご協力をお願いいたします。

**発送準備
ボランティア
募集**

お申込み
Eメール★volunavi@npohokkaido.jp
TEL★011-242-2042

登録無料 欲しい情報がお手元に

**ボラナビ・
アラート**

活動したい地域・分野・時間帯を
選んで登録。ご希望にあった最新の
ボランティア・イベント情報をお届け！
携帯からも簡単登録→

<http://npohokkaido.jp/volunavi/modules/vsearch/index.php?controller=user>

お独り様会

未婚・離婚・死別で独身の方は、ボラナビ倶楽部が運営する「お独り様会」に入会しませんか？ ご自身の思いや経験を書いて送るだけで「会員」になります。原稿は、会員にのみ郵送される文集に載ります（匿名）。新しい文集を毎月お送りします。将来的には、会員が集う非公開の場を設けていく予定です。

- ◎ 独身の方が対象です。原稿800字程度と、氏名（よみがな）、生年月、住所、連絡先、性別、未婚・離婚・死別のどれかを書いて、ボラナビ倶楽部の入稿フォームからお送りください（郵送等可）。

※ 入会無料。当事業は独身者の孤立を防ぐことが目的で、2011年度に助成を受けて実施します。

原稿送り先／NPO法人ボラナビ倶楽部
ホームページ（入稿フォーム）は、お独り様会で検索を。
メール volunavi@npohokkaido.jp
TEL 011-242-2042 FAX 011-242-2043 〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目2札通ビル7階

週1

パソコン操作とホームページ作りのガイド役募集

今年1月にスタートした「あんだんて」は、障がい者自立支援法の中の自立訓練（生活訓練）のための場です。とは言っても固苦しいものではなく、6～10人の少人数で、料理やお菓子作り、ポストカードの作成など、軽作業をじっくりやっています。利用者さんから希望があり、1. パソコンの初歩を教えてください方、2. ホームページ作りのガイドをしてください方を募集します。優しくコミュニケーションできる方を希望します。

- 日時／月～水曜日 10：00～16：00 の中で、週1日ご都合のよい時間
- 場所／札幌市北区麻生町6丁目6-9 あざぶマリオン1階
- 交通機関／地下鉄南北線「麻生駅」より徒歩10分
- お問合せ／NPO 法人地域障害者活動支援センター創生もえぎ 生活訓練事業所「あんだんて」
メール andante_669@yahoo.co.jp TEL・FAX：011-768-8521（電話は月～金曜日9：00～15：00）

月1

車いす利用者をサポートしてくれる方の募集

私には98歳になる母親がいて、車いすを利用しています。母の洗髪など簡単な身体介助と、自家用車で病院などに出かける際に外の階段（13段）を車いすのまま昇降する手伝いをしてくれませんか。持ち上げるのに相当な力が必要なので、20～50歳ぐらいまでの心身ともに健康な女性を希望します。自家用車に同乗し、病院で母の診察が終わるまで待機していただく場合もあります。

- 日時／通院のため月1回程度水曜日9：30～14：00ごろ。その他不定期（要相談）。
- 場所／白石区東札幌（自宅）および外出先
- 交通機関／地下鉄東西線「白石駅」より徒歩約8分
- その他／交通費1,000円と1時間当たり800円をお支払いします。
- お問合せ／佐藤（仮名） 携帯：090-6991-1653

子どもと自然の中で遊びませんか？

自然体験や人との触れ合いを通じた教育を実践するNPO法人です。子ども自然学校「おたる・さっぽろアウトドアスクール」のボランティアスタッフを募集します。今年4月から1年間、土・日・祝日・長期休暇のみ、子供たちと札幌市内や市外、道外の自然の中で一緒に遊び、学びませんか？ 学生さんを含む18～50歳くらいで、この期間、継続して参加できる方をお願いします。交通費実費支給。謝礼一日3,500円程度。実習期間あり。関心を持たれた方は説明会にお越しください。

説明会

- 日時／4月20日（水）19：30～20：30
- 場所／ちえりあ4階研修室
（地下鉄東西線「宮の沢駅」直結）
- その他／説明会にこられる方は、事前にご連絡ください。



NPO 法人自然教育促進会

メール outdoor@sokusinkai.com
TEL：0134-51-5666 FAX：0134-51-5667
小樽市望洋台2-14-1
ホームページ <http://www.sokusinkai.com>

ぬくもりのケア

●ハンド・フットケア初心者用基礎講座教室

オイルを使って、温めた手で利用者の手足をさすり、なでてあげる優しい手技です。
※社会福祉施設に勤務する看護師を対象に講義経験有。（平成21年度北海道社会福祉協議会主催）
日時／毎月第2・4（土）13：00～15：00 2時間/回（全5回）
受講料／35,000円（教材・修了証書代含む）

●ヘッドケア・肩ケア初心者用講座を開設します！

日時／毎月第1・3（日）13：00～15：00 2時間/回（全4回）
受講料／32,000円（教材・修了証書代含む）
会場／どちらの講座も札幌市中央区南2条西6丁目 狸小路プラザハウス2階

NPO 法人 日本ヒーリングケア協会・ヒーリングケアスクール札幌 代表：男沢（おざわ）千恵子
TEL：090-2877-5876 FAX：011-824-3844 ホームページ <http://www.healing-care.jp>

随時

精神障がい者施設のボランティアスタッフ募集!

私たちは、精神障がい者のための就労継続支援 B 型施設を障がい当事者の立場で運営する NPO 法人です。行っているのはメンタルケア情報誌の発行、あみぐるみや T シャツ、天然石やビーズを使ったアクセサリーの製作販売、マンションや公園の清掃などです。障がいを抱えた方が助け合いながら就労を目標に活動し、自主性や社会性を身につけて元気になっていく、地域とつながった施設を目指しています。この度、精神障がい者に理解のあるボランティアスタッフを募集します。事業や運営に関する様々なことをお手伝いいただきたいと思いますので、ご連絡ください。



- 日時／火～土曜日 10:00～16:00
- 場所／札幌市豊平区中の島 1 条 6 丁目 7-23 北海ビル 2 階
- 交通機関／地下鉄南北線「中の島駅」「南平岸駅」より徒歩 15 分、市電「幌南小学校前」停留所より徒歩 10 分
- お問合せ／NPO 法人のほほん 就労継続支援 B 型ビーイング〈担当：福地〉
メール npo.being@gmail.com TEL・FAX: 011-815-2400

4/30

はなかく祭! 開催

チェルノブイリ原発事故から 25 年。「核より命! ハンカクサイこと卒業祭!」

●プログラム [4月30日(土) 13:30～21:00 (開場 13:00)]

14:00～15:30 講演「チェルノブイリ原発事故。その時何が起こったか」今中哲二さん (京都大学原子炉実験所)

15:30～16:00 「ナージャの村」短縮版上映

チェルノブイリ原発事故で汚染された村の自給自足生活を描くドキュメンタリー映画。短縮版を制作した元東海村住民の母親たち (1999 年臨界被爆事故体験者) の手記の朗読あり。

～休憩・交流広場あり～

16:45～18:15 講演「自然エネルギーと省エネ政策で、原発を卒業できるか?」

飯田哲也さん (環境エネルギー政策研究所)

～その後は、休憩タイム、リフレッシュ体操、Q&A+みんなでトークや、ドラムサークルワークショップ、明日につながる交流タイム。～

- 会場／札幌エルプラザ (札幌市北区北 8 西 3) 3F 大ホール
- 参加費／1,200 円 (前売 1,000 円)、高校生以下無料
- 前売券取扱／青い空流れる雲・アースカバー・あすらん・えこふりい・キッチンポラン (アリオ店)・給食堂 bio・これからや・さっぽろ自由学校「遊」・自然食ホロ・旅するはらっぱ・みんなる・らる畑など
- その他／「はなかく祭」へのご支援・ご参加をお願い申し上げます。賛同金 1 口 500 円。
加入者名 「はなかく祭」実行委員会 ゆうちょ銀行 普通口座 02730-2-46333
- お問合せ／「はなかく祭」実行委員会
メール hankakusai2011@gmail.com
TEL: 011-614-2406 (らる畑 橋本)
TEL・FAX: 011-823-0738 (細谷)
〒060-0061 札幌市中央区南 1 西 5 愛生館ビル 2 階
さっぽろ自由学校「遊」気付
はなかく祭ブログ <http://hankakusai.greenwebs.net/>
(前売り券情報などもチェック!)
後援: 札幌市 (申請中)

原発問題を伝えるパネル展

はなかく祭に先立ち、チェルノブイリ原発事故や、北海道 (泊・幌延) と全国 (上関・六ヶ所・大間) の核施設、ウラン採掘～廃棄・劣化ウラン弾・被爆労働などを伝えるパネル展を開催します。入場無料。
4/24～30 日 札幌エルプラザ 2・4F 展示スペース

ウィルチェアー（車椅子）ラグビーチーム「北海道ビッグディッパーズ」は、練習をサポートしてくれるボランティアを募集しています。具体的には競技用車いすの搬入・搬出、車いす乗り換えの介助、練習終了後の体育室の清掃などで、できれば練習にも参加してください。力仕事に思われるかもしれませんが、女性も大丈夫です。ウィルチェアーラグビーとは、四肢麻痺者などがチームスポーツをする機会を得るために、1977年にカナダで考案されました。ラグビー、バスケットボール、バレーボール、アイスホッケーなどの要素が含まれていて、バスケットボール用のコートで行います。ボランティアや見学をご希望の方は、事前にご連絡ください。選手も募集しています。手に障がいがあってもプレーできるルールで、参加費はかかりません。体育館用の運動靴と、運動できる服をご用意ください。旭川と岩見沢でも練習を行っています。お気軽にお問合せください。

●日時／4月5・12・19・26日(火) 18:00～21:00、4月16・23日(土) 14:00～21:00、5月10・17・24・31日(火) 17:00～21:00、5月22日(日) 14:00～21:00

●場所／リフレ札幌国際交流館2階体育室（札幌市白石区本通16丁目南4-26）

●交通機関／地下鉄東西線「南郷18丁目駅」より徒歩5分

●お問合せ／北海道ビッグディッパーズ〈担当：山田〉

メール takahiro_yamada@hi-ho.ne.jp

携帯：090-8705-6154 FAX：011-853-8255

ホームページ http://www.geocities.jp/hokkaido_big_dippers/

携帯用ホームページ <http://k2.fc2.com/cgi-bin/hp.cgi/bigdippers/>

こころのQ&A

自殺に関連する疑問を紹介します。

Q 「死にたい」と言われたら、どうすればいいでしょうか。

A なぜ死にたいと思うのか、死にたくなるほど追い込まれた悩みは何かをその方から真剣に聴き、辛さに理解を示してください。そして、「死んでほしくない」というあなたの感情を素直に伝えてください。正直なところ、あなたは困惑するでしょうし、相手の悩みの解決は簡単ではないかもしれませんが、まずは気持ちを受け止め、寄り添ってあげることが重要です。その方がすぐにでも自殺してしまいそうな時は以下の対策を取ってください。①自殺しない約束をする、②一人にしない、③自殺の手段（包丁や薬物など）を遠ざける、④警察や救急隊などに知らせ、助けを求める。なお、うつ病が疑われる場合は、早めに専門医にかかれるように協力してあげてください。

北海道立精神保健福祉センター TEL：011-864-7121



札幌こころのセンター

TEL：011-622-0556

こころの健康に関する相談電話。
ひきこもり、依存症などの特定相談を、
予約制で行っております。



北海道新聞をはじめとする、地域の新聞社が運営するショッピングサイト「よんななくらぶ」では、日本各地の逸品・特産品をお届けしています。

よんななくらぶ

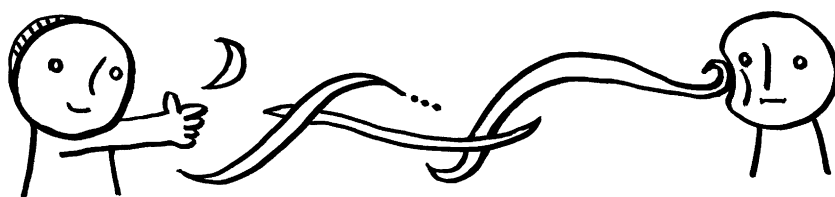
検索



私は、趣味で写真を30年以上撮っています。福祉施設や市民団体、公的な機関などから要望があれば、無償で撮影のお手伝いをさせていただきます。機材はコンパクトデジカメかフィルム一眼レフを使用しますが、依頼者側で用意される場合は事前にお知らせください。



- 日時／不定休の仕事についているため、私の休日と依頼者側の希望日が合う時に限ります。2ヶ月前にお知らせいただければ、休日を調整できます。時間帯は13:00～16:00を希望。
- 場所／札幌市内から片道1時間程度で行ける所まで
- その他／交通費やデータ提供費などはいただきません。現像は自己負担をお願いします。一般企業からの要望は受けません。
- お問合せ／相木 メール zan41274@nifty.com 携帯：080-4044-1282



北海道いのちの電話第34期相談員養成講座 受講生募集

自殺予防を目的として、電話相談を行っている社会福祉法人いのちの電話では、2011年度相談員養成講座の受講生を募集しています。

受講資格	年齢20歳以上 相談員として深夜帯も担当可能な方	研修期間	2011年10月～2012年5月 毎週火曜日18:45～21:00講義、体験学習など 2012年6月～2013年3月 実習
定員	40名程度	研修費用	30,000円と宿泊研修実費6,000円程
応募書類	申込書(所定のもの・写真添付)「応募する理由(800字程度)」「私の生い立ち(1,600字程度)」	お問合せ・応募要項請求は、	事務局 TEL: 011-251-6464 FAX: 011-221-9095 〒060-8693 札幌市中央郵便局私書箱107号 社会福祉法人北海道いのちの電話 事務局まで または、北海道いのちの電話ホームページからダウンロード
申込手数料	1,000円(定額小為替または切手80円10枚と50円4枚代用可)		
申込期間	3月1日～7月31日(当日消印有効)		



～NPOのちょっとした疑問にお答えします。～

Q

NPO法人の社印を紛失してしまいました。どうしたらいいでしょうか。

A

- 代表者印と銀行印を紛失したのであれば危険です。まずは、警察へ紛失届を提出し、紛失等の日時を証明しておくことをおすすめします。そのうえで、銀行印は直ちに該当銀行へ紛失届を出し、新印鑑を作成して、改印届を提出します。また、代表者印については、法務局へ登録印の亡失届を出し、新印鑑を作成して改印届を提出します。なお、新印鑑を作成するまでに時間を要するようであれば、NPO法人の代表者個人の実印をとりあえず代表者印として届けておき、新印鑑ができれば、後に新印鑑で改印届を提出するという方法もあります。
- 下矢洋貴 弁護士(佐々木総合法律事務所 TEL: 011-261-8455)

随時

点訳します

私たちは視力に障がいのある方のために、小説などの点訳をするボランティアサークルです。点訳を希望される方はご連絡ください。

●お問合せ／点字サークル「ななかまど」〈担当：渡辺〉 TEL・FAX：011-665-4679 携帯：090-1300-2793

5/15

シングルマザーや離婚を考えている方のための「聴きあう会」

母子家庭への情報提供や相互扶助を行っている会です。母子家庭（死別・離別・非婚）または離婚を考えている方で参加者の秘密を守れる女性を対象に、悩みや不安を共有する「聴きあう会」を開催します。簡単なルールの下、お互いに話し、聴きあうことで気持ちが楽になり、解決の糸口が見えてきます。否定されずにじっくり聴いてもらえ、安心できる場です。参加しませんか？ 母子家庭を支援する制度もご紹介します。定員約10人。参加費500円。託児できますので、希望者は5日前までにお申し込みください。

●日時／5月15日（日）13：00～15：00

●場所／札幌エルプラザ男女共同参画センター4階研修室3（北区北8条西3丁目。札幌駅より地下直結）

●お申込み／しんぐるまざあず・ふぉーらむ北海道〈担当：平井〉

メール hitorioya@hotmail.co.jp 携帯：080-3291-3059 FAX：0134-33-7345

ホームページ <http://kokoropg.cocolog-nifty.com/hitorioya/>

随時

書道・俳句・手芸などを教えていただけませんか

「デイサービス北大通り（ほくだいどおり）」では、書道、手芸、絵画、絵手紙、楽器演奏など、趣味活動の講師を務めてくださる方を探しています。5～8人前後の小グループに指導していただく予定です。みなさんの趣味や特技を活かし、楽しみながら参加しませんか。お気軽にお問い合わせください。

●日時／月～土曜日 14：00～15：00

●場所／札幌市北区北23条西4丁目2-23（地下鉄南北線「北24条駅」より徒歩3分）

●その他／交通費をお支払いします。

●お問合せ／医療法人社団誠仁会 デイサービス北大通り〈担当：笹村〉

メール place24@seijinkai-n.com TEL：011-738-1111（代）

元東映映画俳優

プロ芸人出前公演（道内各地）

高齢者施設・団体や町内会などの敬老会・お誕生日会などを昨年以上に楽しい行事にしてみませんか

■演目：ナツメロ・国定忠治の一人芝居など。案内資料を郵送します。

■料金：札幌市内であれば、5,000円程度です。

道内各地で「高齢者のためのコンサート」を実現させるために主催者、スポンサーさんをお募集！（開催の際は必ず地元の社会福祉協議会または関連団体様の協力をお願いします）

夢と生きがい 高齢者のためのコンサート実行委員会〈皆川〉

TEL・FAX：011-704-1055



随時

身体障がい者の介助ボランティア募集

障がい福祉サービスを行う私たち「NPO 法人いろえんぴつ」の利用者で脊椎損傷の女性を介助して下さるボランティアを募集します。日中は料理や掃除、おむつ交換、夜間は体位交換(寝返り)、歯磨き、洗面などの介助をお願いします。介助方法を基礎からお教えしますので、基本を身につけられます。少しの時間でも構いません。長くおつきあいいただける方をお待ちしています。電話やメールで詳細を説明します。

●日時／月～土曜日

① 10：30～12：30 ② 14：30～16：30 ③ 18：30～20：30 ④ 23：00～9：00

●場所／札幌市西区内（女性のご自宅）

●お問合せ／NPO 法人いろえんぴつ 〈担当：渡辺〉

メール iroenpitu2010@yahoo.co.jp 携帯：080-1977-6013

随時

デイサービスのボランティア募集

私たちが昨年に行っているデイサービスで、高齢の方と一緒に、手芸・おりがみ・小物作りなどご自身の趣味を活かした活動に取り組んでいただけませんか。また、レクリエーションの手伝いや話し相手、昼食前後のお茶出しなどをして下さる方も募集します。私たちは、高齢の方が安心して楽しく過ごす場を地域の方々と一緒に作っていきたく考えています。「ボランティアの経験は無いけど興味がある」「高齢の方と話したい」「自分の趣味を活かしたい」など、どのような動機をもつ方でも歓迎します。

●日時／月～土曜日 9：00～15：00

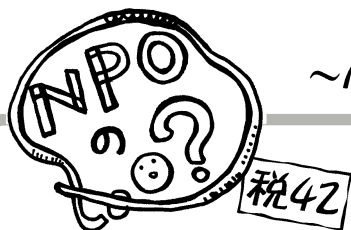
●場所／デイサービスセンター栄町（札幌市東区北 47 条東 17 丁目 1-1）

●交通機関／地下鉄東豊線「栄町駅」から徒歩なら 10 分、バスなら中央バス（栄 19）で「北 47 条東 15 丁目」下車。地下鉄南北線「麻生駅」から中央バス（麻 25）で「北 47 条東 15 丁目」下車。

●その他／公共交通機関利用者には一律往復 500 円をお支払いします。

●お問合せ／社会福祉法人札幌山の手リハビリセンター ケアセンター栄町 〈担当：湯谷〉

TEL：011-789-1152 FAX：011-789-1278 ホームページ <http://www.s-yamanotereha.or.jp>



～NPO のちょっとした疑問にお答えします。～

Q

NPO 法人会計基準ができたと言いましたが、なぜ NPO 法人にも会計基準が必要なのですか？

A

- NPO 法人は、株式会社等の営利企業よりも、市民に対してその活動や会計の情報を公開することが強く求められます。しかし、その会計に関する共通のルールがないことで、
- 各 NPO 法人が様々な独自のルールで会計を行ったり、決算書が作成されることになり、その結果として、NPO 法人を支援したり
- 参加しようと思っている市民から、その活動やお金の状況が良く理解できないなどの指摘もありました。そこで、NPO 法人の共通の会計ルールとして、2010 年 7 月に NPO 法人会計基準が公表されました。
- (NPO 法人会計基準の詳細⇒<http://NPOkaikei.blog63.fc2.com/>)
- 瀧谷和隆（瀧谷和隆税理士事務所 apitakiya@aol.com）

高齢者の住まいや孤立死防止に関心のあるボランティアさん募集

「札幌終の棲み家（ついのすみか）を探す会」では、在宅生活が難しくなった方や、退院を迫られながらも自宅で生活することが困難ななどの住宅探しをボランティアで行っております。一緒に活動しませんか。1. 病院のソーシャルワーカーやケアマネジャーを訪問または電話をし、住宅問題で困っている方のリサーチ、2. 札幌の有料老人ホーム、高齢者住宅、高齢者下宿、シルバーマンション、高齢者専用賃貸住宅、グループホーム、小規模多機能型居宅介護施設、特別養護老人ホームなどの空室状況や費用調査、3. 見学希望者を現地まで車で送迎、などでお手伝いしてください。将来、医療福祉介護の分野で働くことを目指す学生さんをはじめ、無縁社会や孤立死防止に関心のある方はぜひご協力ください。



- 日時／特に決めていません。
- 場所／高齢者向けマンションウェルネス中島1階（札幌市中央区南20条西6丁目6-5）
- 交通機関／地下鉄南北線「幌平橋駅」より徒歩10分、または市電「山鼻19条」停留所より徒歩1分。
- その他／交通費実費をお支払いします。無料で食事を提供します。
- お問合せ／札幌終の棲み家を探す会〈担当：小番（こつがい）〉
メール jugem2010@live.jp TEL：011-300-2252 FAX：011-511-1159
携帯：090-3456-3333
ホームページ <http://sapporohome.at.webry.info/>

「アフターハローワークカフェ」にいらっしゃいませんか。求職している方がちょっと息抜きに集まり、話を聞きあえる場です。参加できるのは求職中の方だけ。非正規雇用で仕事に就いている方も含まれます。現役大学生は、就職活動中であつても参加はご遠慮ください。

■日時／毎月第3土曜日
13:30～15:00。初回は4月16日。

■場所／プロミス株式会社
札幌お客様サービスプラザ
(狸小路4丁目清水ビル2階) 5丁目側。地下鉄「大通駅」
ポータルタウン「狸小路4・5・6・7丁目出口」より徒歩2分。

■参加費／無料 ■定員／20人
開催3日前までにお名前と連絡先をお知らせください。

NPO法人ボラナビ倶楽部 volunavi@npohokkaido.jp TEL 011-242-2042
ホームページは、アフターハローワークカフェで検索を。

※当事業は、孤立しがちな求職者の癒しが目的です。

登録ヘルパー募集中

興味のある方
ぜひお気軽にご応募ください♪

随 時

- 資 格／ホームヘルパー2級以上、未経験者大歓迎 35歳以上
夜間は年齢不問
運転免許必須 南区在住の方(周辺の方も応相談)
- 勤務時間／応相談 昼間、深夜相談可
- 給 与／時給930円(交通費400円。深夜手当などの諸手当あり)
- 勤務場所／南区とその周辺
- 応募方法／履歴書を当事業所まで郵送するか、右記までご連絡下さい。

NPO法人せせらぎ
ヘルパーステーションせせらぎ

〒005-0804
札幌市南区川沿4条3丁目4-9 フラワーハイム102号
TEL：(011)572-7810 FAX：(011)572-7840

幼児・児童を対象にした自然体験学校でボランティアをしませんか？ 週末が中心で、夏・冬休みには宿泊キャンプもあります。各種自然体験活動関連資格を資料代程度で取得できるスタッフ研修会に参加できます。月に1～3日お手伝いしてください。ボランティア募集説明会を開催しますので、興味のある方はぜひご参加ください。

- 日時／4月20日(水) 19:00～20:30
- 場所／あそベンチャースクール桑園教室（札幌市中央区北9条西18丁目35-89 ダイビングショップポセイドン3階）
- 交通機関／JR「桑園駅」より徒歩8分
- その他／ボランティア活動では交通費（1日上限千円）と謝礼（千円。宿泊時は2千円）をお支払いします。
- お問合せ／NPO法人あそベンチャースクール〈担当：田中〉 メール info-asove@kfz.biglobe.ne.jp
TEL：011-632-7700 FAX：011-632-7701 ホームページ <http://www.asove.rexw.jp>

自閉症など発達に障がいのある幼児や児童に、小グループの楽しい遊びを通して社会性やコミュニケーションの発達を支援して下さる方を募集します。

- 日時／幼児クラス（月～金曜日 10:00～12:00）、児童クラス（月～金曜日 15:00～17:00、土曜日 10:00～12:00）のうち可能な時間。
- 場所／札幌市北区北23条西5丁目（地下鉄南北線「北24条駅」より徒歩3分）
- お問合わせ／児童デイサービスコンチェルト〈担当：菊池〉 メール concerto@samba.ocn.ne.jp
TEL：011-788-6026 ホームページ <http://www4.ocn.ne.jp/~concerto/>

自殺は「やめて」～遺族の悲しみ

うつ病の苦しみ①

父は真面目で努力家だった。定年後は、専門外の関連会社で社長を務めた。父は慣れない仕事と名ばかりの肩書に悩み、辛さを表に出さないうちに、うつ病を患った。

私は結婚して実家を離れていた。ある日、父は泥だらけで「山の中で首をつろうとしたができなかった…」と帰って来た。母は慌てて父を精神病院に連れて行き入院させた。しかし精神病に対する偏見は強く、父は嫌がってすぐに退院。うつ病と診断されていたが、薬をきちんと飲まなかった。

数年後、父はまた自殺未遂をする。大量の睡眠薬を飲み、外で倒れた。私たち子どもに心配させまいと全てを内緒にしていた母だったが、子どもたちを招集。私たちは「ただいま」と普段通りに帰省し、努めて明るく振舞い、夜はいつものよう

サチさん 女性。兄妹と両親の5人家族で育つ。
1996年に父親（当時61歳）が自殺。

に団欒した。倒れたことで父の顔は傷だらけなのに、誰もそれには触れなかった。父が死のうとしたことへのショックが大きく、うつ病に対する知識もなくて、父にどう接していいか分からなかったのだ。医者からのアドバイスは「本人にがんばれと言わない」だけだった。

翌日、私と二人きりになった父が言った。「俺、よく死ななかったな。医者には胃の洗浄をしなくていいと言われたけど、大丈夫かな」。私はその言葉に驚き、父をにらみつけ、「何したかわかってる？ お母さんの気持ちを考えてよ」と怒鳴りつけた。今思えば、父の心の叫びを受け止め、生きてさえいてくれればいいと伝えるチャンスだった。15年前のあの日のことを、私はまだ悔やんでいる。（次号に続く）

OB・OG 青年海外協力隊

「海外でボランティアをする」—— 夢見たことはあるけれど、実現していない人は多いのではないのでしょうか。もしかしたらあなたが行くかも、あるいは行ったかもしれないその土地の様子を、青年海外協力隊 OB・OG の方々に教えていただきます。

第48回

泣いた！ 笑った！ ネパールの人々と…

木原由里子(きはらゆりこ)さん(31歳)理学療法士。
2008年1月から2年間、ネパールの病院で、患者とのコミュニケーションの重要性や理学療法技術などを啓蒙。
帰国後は、恵庭市の理学療法士養成専門学校教員。



山岳部の住民(背景はヒマラヤ山脈)

世界一高い山、サガルマータ(ネパール語で「エベレスト」)。白くそびえる凛とした山脈を、ネパールに向かう飛行機の中から初めて見た時の感動は忘れられません。赴任中は何度も悩み、立ち止まり、落ち込むこともありましたが、でも通勤路で顔をあげると、いつも変わらないその姿が私を勇気づけてくれました。

首都カトマンズの病院で送った隊員生活。乱雑で清潔感のない院内や、患者さんに偉そうに話す医療スタッフをみて、日本との違いに最初はびっくりしました。そして活動しているうちに、ここには地方から来る患者さんが多く、時間がないため十分な医療を受けられずに帰る方がいること、さらに、ここに来ることすらできない人々がたくさんいることを知りました。

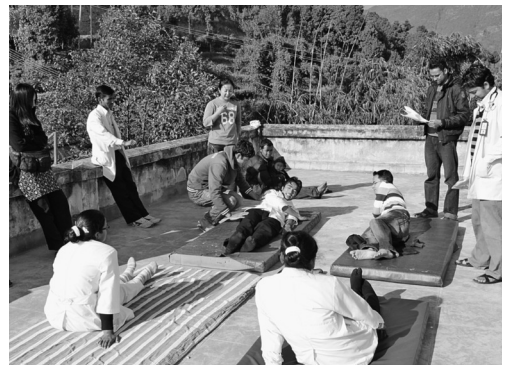
ネパールは、北海道の広さの約2倍。北海道では14の各支庁に、中心となる病院や医師のいる施設がありますが、ネパールの15の県それぞれに大きな医療機関はありません。医療スタッフは首都圏に集中しています。加えて地方と首都をつなぐ交通機関は乏しく、道路も整っていないので、重病人を背負い徒歩で5日間かけて、やっと医師のいる施設にたどりつくということもあります。自分の背中で家族を亡くした人、知識不足で病気に気付かずに命を落とす人、障がいの残る人もいます。

私は、ネパールのような国にこそ「地域医療」「地域リハビリテーション」が必要だと感じ、首都での活動のかわら、地方の村も訪ね、「機能を回復させる」という視点で知識や技術を伝えました。たまにしかない機会を逃すまいと、私のネパール語による説明を熱心に聴く村の病院スタッフ。家庭で行う練習方法を一生懸命に確認する患者さんとその家族。こういう方たちが、自分たちの地域を支えていくのだろうと感じました。これからは、

ネパールの全国民がより健康で元気に過ごせるように、地域医療について人々が真剣に考え、環境を整えていくことを願います。

ネパールの人々はいつも笑顔で、何も気にせず過ごしているように見えます。そして、人と人とのつながりは濃く、お互いが支えあっています。この明るく優しい国民性なら、きっと「バイハルチャ(何とかなる)」でしょう。

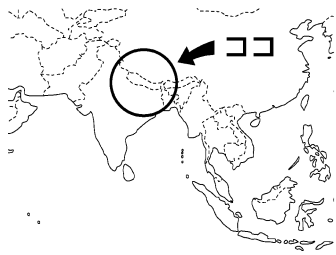
ネパールでの生活は、自分と地域を見直すきっかけになりました。これからも、何らかの形で地域に関わっていきたいと思います。



地方でおこなったリハビリ研修。中央奥が筆者

豆知識

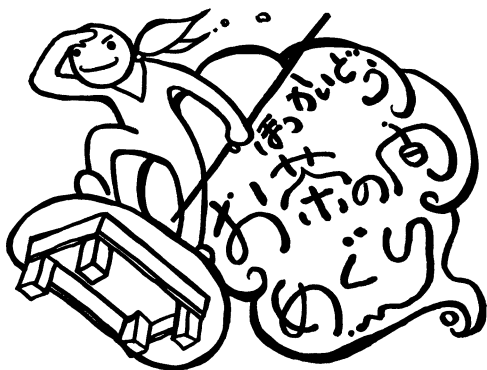
交通の便が整っていないネパールでは、バスの屋根の上も「座席」。バスが倒れそうなくらいに傾くと、やっと定員オーバーです。



▼応募相談・活動などボランティアに関するお問い合わせは—

独立行政法人 国際協力機構 札幌国際センター(JICA 札幌)

〒003-0026 札幌市白石区本通16丁目南4番25号 TEL: 011-866-8393 Eメール sictpp@jica.go.jp



誰でも気軽に立ち寄っておしゃべりができる「地域のお茶の間」は、集まった人たちとおしゃべりをしたり、ゲームや料理などをしながら、一緒に楽しい時間を過ごすことができるスペースです。

ホームページで札幌市内を中心に、300ヶ所を紹介中!

お茶の間めぐり

検索

Vol.43

さわやか健康クラブ

場 所 丘珠まちづくりセンター多目的ホール
日 時 第1・3火曜日 10:00~12:00
参加費 300円
参加対象 高齢者。事前にご連絡ください。
主催・連絡先 TEL: 011-783-1777 向川 (むかいがわ)



お茶の間について

2001年に丘珠老人クラブで体操を始めたのがきっかけで、生まれた会です。運動靴をはいて動きやすい服装で集まり、1時間身体を動かします。リズム体操曲の他、氷川きよしの「ズンドコ節」など歌謡曲に合わせて運動する楽しい時間です。その後は、お菓子をつまみながらみんなでしゃべる「茶話会」。話題は昔のことが多く、みんな喜んでます。カラオケや花見、温泉日帰り旅行に出かける行事もあります。これまでに栗山、新十津川、ふとみ温泉などに行きました。忘年会や新年会も開いています。メンバーは女性29人、男性3人で、80代が多く、最高齢は96歳(男性)です。



メ ッ セ ー ジ

みんなと同じように体を動かせない方でも、できる範囲で運動したり、カラオケやおしゃべりを楽しんでいます。今年2011年は当会の10周年なので、さらにイベントを予定しています。5月中旬には温泉に行く予定なので、この時から参加されてもいいのではないのでしょうか。某葬儀社から、友引には葬儀をしないのでバスを無料で使わせてくれる話があり、利用する予定です。私(代表者)は連れ合いをなくして一人暮らし。当会で皆さんと過ごす時間を楽しんでいます。メンバーが高齢になってきたため、若い方の参加を歓迎します。一緒に楽しく体を動かし、おしゃべりしませんか。



ボラナビカフェを
毎月開催しています。



日時/4月9日(土) 13:30~15:00
場所/プロミス株式会社札幌お客様サービスプラザ
(狸小路4丁目 清水ビル2階) 5丁目側。
地下鉄「大通駅」ボールタウン「狸小路4・5・6・7丁目出口」
より徒歩2分。
参加費/300円 定員/10人
参加方法/要予約。メール volunavi@npohokkaido.jp
TEL: 011-242-2042

2月の

事務局の1ヶ月を
振り返りつつご紹介



- 今月はボラナビカフェを5回開催し、多くの方に楽しんでいただきました。カフェの様子はホームページで紹介しています。
- 今月より、ユーザーズボイスを多めに紹介します。

東日本大震災で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。ボランティアや寄付などの情報をホームページで紹介しています。

月刊ボラナビの配置先 (今月は市外の一部をご紹介) ボラナビは毎月25日に約1,000ヶ所に配置しています。

●札幌市外 ■倶知安町・長万部町・八雲町／マックスバリュ倶知安店／スーパー JOY 倶知安店／北海道労働金庫 (倶知安支店・八雲支店)／中和石油㈱ (FW 長万部・ビットイン長万部) ■苫小牧市／JR 苫小牧駅／北海道労働金庫苫小牧支店／中和石油㈱ FW 苫小牧／マックスバリュ (澄川町店・花園店・支笏湖通り店・有珠川店) ■室蘭市・伊達市・登別市／Honda Cars 札幌室蘭西店／マックスバリュ (室蘭東店・登別店)／北海道労働金庫 (室蘭支店・室蘭東支店)／日産サテリオ札幌伊達営業所 ■当別町・月形町・新篠津村／札幌信用金庫 (新篠津支店・当別支店・月形支店)／北海道医療大学 ■岩見沢市・夕張市・栗山町／JR 岩見沢駅／北海道労働金庫 (岩見沢支店・夕張出張所)／札幌日産自動車㈱岩見沢支店／マックスバリュ (岩見沢東店・栗山店) ■砂川市・深川市／札幌日産自動車㈱空知支店／Honda Cars 札幌砂川店／介護老人保健施設エーデルワイス／安寿ケアセンター／介護老人福祉施設清祥園／グループホーム忘れな草／マックスバリュ深川店／深川第一病院／新雨竜第一病院／北海道労働金庫砂川出張所 ■函館市／北海道労働金庫函館支店／HIF (ぼらっと)／マックスバリュ (石川店・堀川店) ■新ひだか町／マックスバリュ静内店／北海道労働金庫静内支店 ■旭川市・赤平市／JR 旭川駅／北海道労働金庫 (旭川支店・赤平出張所)／中和石油㈱ (末広東・大雪通・緑町・道北本部)／マックスバリュ (永山店・宮前通店・赤平店) ■釧路市・中標津町／ボランティアネットワーク・チャレンジ隊／マックスバリュ (川北店・春採店・文苑店)／北海道労働金庫 (釧路支店・中標津支店) ■帯広市・幕別町／北海道労働金庫帯広支店 ■滝川市・芦別市・士別市・留萌市・名寄市・美唄市／スーパー JOY (芦別店・滝川栄町店・滝川西町店・朝日町店)／北海道労働金庫 (芦別出張所・滝川支店・留萌支店・名寄支店)／マックスバリュ (士別店・滝川店・留萌店・名寄店)／ドコモショップ美唄店 ■網走市・北見市・紋別市・遠軽町／北海道労働金庫 (網走支店・紋別出張所・北見支店・遠軽出張所) ■稚内市／北海道労働金庫稚内支店

その他の配置先は、ボラナビホームページをご覧ください。

※配置にご協力いただいている皆さま、ありがとうございます。札幌市内の小中学校と北海道内の社会福祉協議会にも配付しています。

道佐新聞販売株式会社様、有限会社北海道新聞中田専売所様のご協力で、札幌市の一部地域で北海道新聞に折り込み配布をしています。一部地域では、ポスティングをしています。

▼講座の案内を載せていただいたところ、**ボラナビを見**て来た方が16人いました。

▼学生さんの卒業、社会人の転勤時期には、**また載せて**いただきたい。

▼ボランティア活動がなにかのプラスになるのか、私たちにハンコを押させるのが目的で一度しか来ない学生がいた。**腹立たしい。**

▼おかげさまで、**うちと相性のいい方と出会い、**通っていたいただいている。

▼会員登録のために氏名と住所を尋ねたら、**「個人情報の収集？」**と言われた。登録制度はまづいのかな。

▼予想以上に反応があり、「ボラナビ」の威力を**再認識**しました。

▼事業を手伝いに来たというより、事業に**「参加者」**として来たような人ばかり。ドタキャンもあった。

▼入稿すると、**校正して**ホームページと冊子の両方に載せてくれるので、手間が省けて助かる。



ボラナビに情報を掲載した方からのご意見、ご感想を紹介するコーナーです。

ボラナビ倶楽部を支援してくださった方々 (サシス順)

札幌信用金庫様

富永マサ子様

北海道新聞社様

札幌通運労働組合様

中道リース株式会社様

有限会社北海道新聞中田専売所様

城宝和茂様

株式会社ニトリホールディングス様

北海道文化放送様

進藤芳彦様

匿名希望者様

森田雄二様

株式会社土屋ホーム様

北雄ラッキー株式会社様

遊佐新聞販売株式会社様

寺岡ファシリティーズ株式会社様

北海道銀行様

株式会社 HBA 様

寄付金について

月刊ボラナビの発行は、企業や個人の方々からの寄付金でまかなわれています。10,000円以上の寄付金や、この欄への10,500円の寄付広告をいただいた際は、お名前をご紹介します。また、札幌市のさぽーととほっと基金を利用してボラナビに寄付をすると、個人なら所得税及び住民税の寄付金税額控除、法人なら全額損金算入が可能です。☎札幌市市民まちづくり局 TEL: 011-211-2964 メール shimin-support@city.sapporo.jp

■情報掲載料金 (各1号につき)

種 類	サイズ (天地×左右)	料 金
Sサイズ (企業・行政)	50 mm×76 mm	31,500円
Mサイズ (企業・行政)	50 mm×157 mm	63,000円
Mサイズ (NPO・NGO)	50 mm×157 mm	5,250円
Lサイズ (NPO・NGO)	100 mm×157 mm	10,500円
無料掲載 (NPO・NGO)	サイズの希望は受けられません。 また、誌面の都合により掲載できなくなる場合があります。	無 料
裏 表 紙	50 mm×157 mm	105,000円
バナー広告	60ピクセル×120ピクセル	52,500円 (1,750円/日)
「支援してくださった方々」欄	お名前のみ	10,500円(※)

※寄付金としての拠出なら消費税は不要です。

●前払いをお願いいたします。

●「製作済みの版下」またはテキストをご提出ください。

写真やイラストも掲載できます。

企業・行政の広告はデザイン性のあるものにしていただきたいと思いますので、版下の提出が難しい場合は、ボラナビ倶楽部が適切なデザインを別料金で制作いたします。(M=6,300円、S=4,200円、バナー広告=6,300円)。

NPO・NGO 広告もデザイン性を持たせることは可能です (L=8,400円)。

●ボラナビ倶楽部のホームページ (ボラナビ・サーチ) への情報掲載は無料です。

■定期購読のご案内

各号1部(1年間)……………3,150円 ボラナビ倶楽部までご連絡ください。

ボラナビ倶楽部への
お振り込みは

■ゆうちょ銀行 (郵便振替)

02700-1-5671

■北洋銀行北七条支店

(普)3662056

■北海道銀行札幌駅北口支店

(普)0816050

■北海道労働金庫道庁支店

(普)3153060

■札幌信用金庫本店

(普)4255071

●口座名: ボラナビ倶楽部

※北海道労働金庫の窓口でお振り込みの際は、手数料はかかりません。

■クレジットカードによる支払いも可能です。詳細はボラナビのホームページでご確認ください。

■ボラナビモバイル



QRコード対応携帯のみ

ボラナビ倶楽部の会員になりませんか?

社会を
変えたい人一緒に
ボラナビを
育ててみたい人市民活動や
ボランティアに
興味がある人ボラナビに
情報・広告を
載せたい人

■年額/個人5千円、法人1万円。

■特典/月刊ボラナビが毎月自宅に送られてくる。ボラナビカフェに無料で参加できる(月1回)。
法人会員は、有料広告枠を1割引で利用できるなど。ぜひお申し込みください。

■お申込み・詳細/ホームページで検索

※会員期間は、2011年4月～2012年3月です。

NPO 法人ボラナビ倶楽部 ● volunavi@npohokkaido.jp ● TEL 011-242-2042